

### 大船渡 あしたを奏でる

茨城県 ひたちなか市

菊地 輝直さん(24歳)のお手紙

#### ◆番組の内容

茨城県ひたちなか市の菊池さんから寄せられた手紙が紹介されました。それは、震災から2か月が経とうとしたときの岩手への旅を経た内容でした。

菊池さんは、当時入団していた吹奏楽連盟のひとたちと一緒に岩手県大船渡市へ向かい、被災された方々への支援として、リアスホールで演奏を披露することになったのです。

この演奏には、他の被災地の4つの楽団もかけつけ、その中に、高田高校吹奏楽部の姿がありました。彼らは、被災した楽器を持ち、この演奏会に参加していたのでした。



茨城県 吹奏楽連盟

★演奏に参加した人たち



高田高校 吹奏楽部

★被災した教室と楽器



★震災後2ヶ月の時に開かれた演奏会

現在、高田高校は大船渡市にある高校の校舎の一部を借りている。吹奏楽部は地区のコンクールに向けて練習していました。

★練習に励む高田高校の生徒たち



未曾有の大震災で被災した人々にどんな方法で支援できるか、そして、被災した人たちが力を合わせて立ち上がろうとする姿は、「人と人の絆」の素晴らしさを感じます。

傷だらけの楽器を懸命に演奏する高田高校の生徒たちの笑顔を忘れることはできませんね。これからも私たちができる復興支援を続けていきましょう。